

C H R O N I C L E

1世紀の伝承

明治31年——平成10年
【1898—1998】

新田・鶴野辺両村が合併し、新鶴村が誕生したのは明治31年(1898)のことである。それから100年。

1世紀を閉じた重みは、一町村の歴史を超え、時代の変遷そのものを映す偉大な足跡でもあった。

その当時、明治31年には大隈重信首相、板垣退助内相といった顔ぶれで、日本で最初の政党内閣が誕生した。

明治22年に大日本帝国憲法が公布され、同年に町村制が施行されて近代的な地方自治制度が整備されたが、時代は、ようやく近代化が始まろうとしていた頃である。

一口に100年とはいっても、それは近代化の黎明に始まり、戦争を体験し、戦後復興・高度成長期を経て、近代化政策の終幕を迎えるという、まさに激動の100年でもあった。

ここに新鶴村の1世紀の伝承を記し、次代への指標としたい。